



平成 25 年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 24 年 7 月 4 日

上場会社名 マックスバリュ東海株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8198 URL [http:// www.mv-tokai.com/company/ir/](http://www.mv-tokai.com/company/ir/)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺嶋 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 浅倉 智 (TEL) 055-989-5050
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 7 月 9 日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 2 月期第 1 四半期の業績 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 2 月期第 1 四半期	40,882	0.3	530	△57.0	527	△57.0	255	△32.3
24 年 2 月期第 1 四半期	40,743	7.1	1,234	104.0	1,225	106.4	377	15.4

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25 年 2 月期第 1 四半期	14	72	14	70
24 年 2 月期第 1 四半期	21	75	21	74

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 2 月期第 1 四半期	60,213	38,130	63.3
24 年 2 月期	58,762	38,502	65.5

(参考) 自己資本 25 年 2 月期第 1 四半期 38,099 百万円 24 年 2 月期 38,491 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24 年 2 月期	—	0.00	—	36.00	36.00	
25 年 2 月期	—					
25 年 2 月期(予想)		0.00	—	36.00	36.00	

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 25 年 2 月期の業績予想 (平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期(累計)	87,400	6.8	2,500	1.8	2,470	1.2	1,200	60.3	69	10
通期	176,000	7.8	5,000	8.1	4,940	7.3	2,200	42.8	126	69

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年2月期1Q	17,494,500株	24年2月期	17,494,500株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	129,078株	24年2月期	128,978株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年2月期1Q	17,365,488株	24年2月期1Q	17,356,173株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から1年が経過し、緩やかながら回復の兆しが見受けられるものの、雇用情勢や社会保険料、消費税引き上げ等の動きに対する懸念がますます高まりつつあり、先行き不透明な状況が続いております。

食品スーパーマーケット業界におきましても、消費者の生活防衛意識が定着する中、コンビニエンスストアやドラッグストアなど、業種・業態を超えた競争は更に激しさを増しており、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような中、当社はマックスバリュ東海株式会社から商号変更してから、本年3月で10周年を迎えました。この節目の年に当たり「マックスバリュ東海10周年 お客さまのために 自ら考え、自ら行動しよう！ 3つのNo. 1づくり ①笑顔づくり、②商品づくり、③売場づくり」を当事業年度のスローガンに掲げ、お客さま満足の更なる向上に努めてまいりました。

販売面におきましては、10周年記念企画をスタートさせるとともに、お客さまに支持される強いスーパーマーケットを目指し、魅力ある農産・デリカ売場の構築、夕方の売込みの強化、トップバリュの拡販など方針を絞り込み、重点的に取り組みました。10周年企画においては記念商品として延べ299品目をプライスダウンしその拡販に努めた結果、4月・5月において売上高6億73百万円と全体の2.5%の構成比となり、売上の底上げに寄与いたしました。またトップバリュの拡販についても、月1回のトップバリュウィークの開催による販売強化を継続するとともに、生鮮・デリカ部門における商品を拡充し、競争店との差別化を図ったことにより、当第1四半期累計期間における同売上構成比は14.3%（昨年同期は11.1%）となりました。

店舗展開におきましては、3月に藤枝田沼店（静岡県藤枝市）、4月に静岡新伝馬店（静岡市葵区）及び富士荒田島店（静岡県富士市）の既存3店舗をマックスバリュ業態からディスカウント業態であるザ・ビッグに業態転換し、競争力の強化を図りました。また、急速に拡大するシニア層に対応するモデル店舗としてマックスバリュ豊田店の活性化を実施し、健康志向商品や、朝食メニューの充実など関連商品の強化に加え、ロー・ゴンドラの導入、プライスカード（値札）の大型化などを行い、見やすい、買いやすい売場への変更に取り組みました。また、マックスバリュ下賀茂店（静岡県賀茂郡南伊豆町）をスクラップ・アンド・ビルド（建替え）のため3月に閉店しました。この結果、当第1四半期会計期間末における店舗数は95店舗（うち、ザ・ビッグ9店舗）となりました。

これらの取組みにより、売上高は前年同期比0.4%の増収となりましたが、既存店については客数の減少などにより同3.1%減という厳しい結果となりました。

一方、経費面におきましては、店舗基本照明のLED化を推進するなど、経費削減対策に継続的に取り組みましたが、店舗活性化の改装投資に加え、電気料金の単価上昇の影響やWAONポイントの企画拡大などの販売促進費が増加した結果、販売費及び一般管理費は、既存店ベースで前年同期比1.0%増となり、営業利益を引き下げる要因となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、営業収益408億82百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益5億30百万円（同57.0%減）、経常利益5億27百万円（同57.0%減）、四半期純利益2億55百万円（同32.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比し、14億50百万円増加し、602億13百万円になりました。これは現金及び預金の増加4億16百万円、店舗基本照明のLED化などによる建物の増加6億22百万円などによるものであります。

② 負債

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比し、18億22百万円増加し、220億82百万円になりました。これは買掛金の増加9億2百万円、賞与引当金の増加4億73百万円などによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比し、3億71百万円減少し、381億30百万円になりました。これは、四半期純利益の計上2億55百万円、剰余金の配当6億25百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2013年2月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、2012年4月12日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

退職給付引当金

当社は、2012年5月に退職金規程の改定を行い、退職金基礎額の算定方法を変更しております。この改定により、過去勤務債務(債務の減額)が354,225千円発生しており、10年の定額法により償却しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2012年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2012年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,947,535	5,363,742
売掛金	44,307	54,752
商品	2,913,536	3,013,458
繰延税金資産	689,772	820,993
関係会社預け金	4,000,000	4,000,000
その他	3,308,743	3,541,184
流動資産合計	15,903,894	16,794,131
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,562,578	18,184,584
土地	10,773,296	10,773,296
その他(純額)	5,540,993	5,512,212
有形固定資産合計	33,876,868	34,470,093
無形固定資産		
のれん	1,311,761	1,269,684
その他	205,238	257,891
無形固定資産合計	1,517,000	1,527,576
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,995,820	2,833,098
差入保証金	3,223,325	3,396,111
その他	1,293,750	1,240,030
貸倒引当金	△48,008	△47,536
投資その他の資産合計	7,464,888	7,421,704
固定資産合計	42,858,756	43,419,374
資産合計	58,762,651	60,213,505
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,495,948	10,397,977
未払法人税等	804,569	232,879
賞与引当金	515,394	989,026
役員業績報酬引当金	51,050	—
店舗閉鎖損失引当金	4,300	—
資産除去債務	2,837	—
その他	2,941,929	4,029,464
流動負債合計	13,816,029	15,649,347
固定負債		
退職給付引当金	3,908,573	3,896,851
商品券回収損失引当金	31,722	31,567
資産除去債務	1,131,602	1,136,961
その他	1,372,215	1,368,037
固定負債合計	6,444,113	6,433,418
負債合計	20,260,143	22,082,766

(単位:千円)

	前事業年度 (2012年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2012年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,167,850	2,167,850
資本剰余金	2,893,374	2,893,374
利益剰余金	33,527,504	33,157,948
自己株式	△151,551	△151,663
株主資本合計	38,437,177	38,067,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,191	32,050
評価・換算差額等合計	54,191	32,050
新株予約権	11,139	31,179
純資産合計	38,502,508	38,130,739
負債純資産合計	58,762,651	60,213,505

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2011年3月1日 至 2011年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2012年3月1日 至 2012年5月31日)
売上高	40,042,701	40,191,052
売上原価	30,135,281	30,625,011
売上総利益	9,907,420	9,566,040
その他の営業収入	700,365	691,170
営業総利益	10,607,785	10,257,211
販売費及び一般管理費	9,373,719	9,726,820
営業利益	1,234,066	530,390
営業外収益		
受取利息	4,199	5,328
雑収入	5,461	7,606
営業外収益合計	9,660	12,935
営業外費用		
支払利息	16,588	15,735
雑損失	1,580	449
営業外費用合計	18,169	16,184
経常利益	1,225,558	527,141
特別利益		
補助金収入	39,266	—
受取保険金	170,979	—
その他	5,493	—
特別利益合計	215,739	—
特別損失		
固定資産除却損	28,716	15,300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	467,241	—
災害による損失	254,043	—
その他	10,222	—
特別損失合計	760,223	15,300
税引前四半期純利益	681,073	511,840
法人税、住民税及び事業税	561,467	224,736
法人税等調整額	△257,862	31,501
法人税等合計	303,604	256,237
四半期純利益	377,468	255,602

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。